



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	原 怜来		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 4		
講義室	1308	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシー（D P）との関連 DP 3 – G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP 4 – F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP 4 – I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP 5 – J 〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP 8 – M 〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用化な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスループリック（C R）との関連 F 1 探究と論拠（2 0 %） G 1 状況把握（3 0 %） I 2 量的分析（2 0 %） I 3 情報分析（2 0 %） J 2 創造的思考（1 0 %）		
教員の実務経験	日本水泳連盟科学委員として、選手のデータを測定し、現場にフィードバックをしている経験を活かして、授業を行います（第4回～第13回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：研究、省察、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践 ■授業の目的		

	学習した内容を基に自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究の進め方についてはコーチング学の手法を用いて学習します。										
総合到達目標	■興味関心の高い分野において、研究を遂行する能力を培うために、自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択する能力を修得する。 ・先行研究を検索し、その内容について説明することができる（第1回～第4回） ・研究について考察し、他者と議論をすることができる（第4回、第7回、第10回、第13回、第14回） ・的確な研究手法を選択し、測定できる（第5回～第6回、第8回～第9回、第11回～第12回） ・実践した研究について概要を説明し、他者が実践した研究についても討議することができる（第14回～第15回）										
成績評価方法	■リアクションペーパー（30%）：適用ルーブリック G1・J2 （評価の観点）他者の発表や研究手法の情報に関する内容などの当該授業内容について授業終盤にリアクションペーパーの記載を行い記載内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後に授業内容の振り返りを行います。 ■プレゼンテーション（70%）：適用ルーブリック F1・I2・I3・J2 （評価の観点）自身またはグループの研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。										
履修条件	「スポーツ生理学の基礎 SCS2309」「スポーツ生化学 SCS2319」、「バイオメカニクスの基礎 SCS2314」を履修していることが望ましい。										
履修上の注意点	特にありません。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 実務経験を通して、コーチング現場における科学的データの活用方法を紹介し、授業の進め方や評価についての説明を行います。授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのコーチングの実際を確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究の基礎 ②授業概要 研究とは何か、論文とはどのようなものかについて説明でき、自身の興味がある研究分野について先行研究の検索を行うことができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 研究とは何か、コーチング学研究法演習でおこなった内容を確認しておく。 ④復習（120分） 今後どのようなテーマで研究を行っていきたいか、自身の考えを整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 研究法の実践 ②授業概要 水泳に関する先行研究を用いて、研究を実施する上で必要なことを学習し、その内容について説明することができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 指定された水泳に関する先行研究を一読してくる。 ④復習（120分） 研究を実施する上で必要なことを再確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 研究テーマの設定 ②授業概要 自身の興味のある研究について発表し、グループディスカッションを行い、本授業で取り扱う研究テーマを決めることができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身の興味ある研究の発表準備を行ってくる。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 実務経験を通して、コーチング現場における科学的データの活用方法を紹介し、授業の進め方や評価についての説明を行います。授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのコーチングの実際を確認しておく。	2	①授業テーマ 研究の基礎 ②授業概要 研究とは何か、論文とはどのようなものかについて説明でき、自身の興味がある研究分野について先行研究の検索を行うことができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 研究とは何か、コーチング学研究法演習でおこなった内容を確認しておく。 ④復習（120分） 今後どのようなテーマで研究を行っていきたいか、自身の考えを整理しておく。	3	①授業テーマ 研究法の実践 ②授業概要 水泳に関する先行研究を用いて、研究を実施する上で必要なことを学習し、その内容について説明することができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 指定された水泳に関する先行研究を一読してくる。 ④復習（120分） 研究を実施する上で必要なことを再確認しておく。	4	①授業テーマ 研究テーマの設定 ②授業概要 自身の興味のある研究について発表し、グループディスカッションを行い、本授業で取り扱う研究テーマを決めることができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身の興味ある研究の発表準備を行ってくる。
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 実務経験を通して、コーチング現場における科学的データの活用方法を紹介し、授業の進め方や評価についての説明を行います。授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのコーチングの実際を確認しておく。										
2	①授業テーマ 研究の基礎 ②授業概要 研究とは何か、論文とはどのようなものかについて説明でき、自身の興味がある研究分野について先行研究の検索を行うことができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 研究とは何か、コーチング学研究法演習でおこなった内容を確認しておく。 ④復習（120分） 今後どのようなテーマで研究を行っていきたいか、自身の考えを整理しておく。										
3	①授業テーマ 研究法の実践 ②授業概要 水泳に関する先行研究を用いて、研究を実施する上で必要なことを学習し、その内容について説明することができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 指定された水泳に関する先行研究を一読してくる。 ④復習（120分） 研究を実施する上で必要なことを再確認しておく。										
4	①授業テーマ 研究テーマの設定 ②授業概要 自身の興味のある研究について発表し、グループディスカッションを行い、本授業で取り扱う研究テーマを決めることができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身の興味ある研究の発表準備を行ってくる。										

	④復習（１２０分） 研究を実施する上で必要なことを再確認しておく。
5	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ１】① ②授業概要 グループで決めた研究テーマに関する実験を流水プールや低酸素室等を利用して実践することができる（F１・G１・I２・I３・J２）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（１２０分） 実験方法を事前に確認しておく。 ④復習（１２０分） 実験方法を再確認し、実施できるようにしておく。
6	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ１】② ②授業概要 グループで決めた研究に関する実験テーマを流水プールや低酸素室等を利用して実践し、実験方法について説明することができる（F１・G１・I２・I３・J２）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（１２０分） 実験方法を事前に確認しておく。 ④復習（１２０分） 実験方法を再確認し、実施できるようにしておく。
7	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ１】③ ②授業概要 水泳に関する研究【テーマ１】①②で実施した実験結果をまとめ、分析をし、考察することができる（F１・G１・I２・I３・J２）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（１２０分） 実験データについて確認しておく。 ④復習（１２０分） 実験データに対する考察の方法について確認しておく。
8	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ２】① ②授業概要 グループで決めた研究テーマに関する実験を流水プールや低酸素室等を利用して実践することができる（F１・G１・I２・I３・J２）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（１２０分） 実験方法を事前に確認しておく。 ④復習（１２０分） 実験方法を再確認し、実施できるようにしておく。
9	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ２】② ②授業概要 グループで決めた研究に関する実験テーマを流水プールや低酸素室等を利用して実践し、実験方法について説明することができる（F１・G１・I２・I３・J２）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（１２０分） 実験方法を事前に確認しておく。 ④復習（１２０分） 実験方法を再確認し、実施できるようにしておく。
10	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ２】③ ②授業概要 水泳に関する研究【テーマ２】①②で実施した実験結果をまとめ、分析をし、考察することができる（F１・G１・I２・I３・J２）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（１２０分） 実験データについて確認しておく。 ④復習（１２０分） 実験データに対する考察の方法について確認しておく。

	11	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ3】① ②授業概要 グループで決めた研究テーマに関する実験を流水プールや低酸素室等を利用して実践することができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実験方法を事前に確認しておく。 ④復習（120分） 実験方法を再確認し、実施できるようにしておく。
	12	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ3】② ②授業概要 グループで決めた研究に関する実験テーマを流水プールや低酸素室等を利用して実践し、実験方法について説明することができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実験方法を事前に確認しておく。 ④復習（120分） 実験方法を再確認し、実施できるようにしておく。
	13	①授業テーマ 水泳に関する研究【テーマ3】③ ②授業概要 水泳に関する研究【テーマ3】①②で実施した実験結果をまとめ、分析をし、考察することができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 担当教員の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実験データについて確認しておく。 ④復習（120分） 実験データに対する考察の方法について確認しておく。
	14	①授業テーマ 研究成果の発表方法 ②授業概要 研究成果の発表方法について学習し、これまでに実施した研究成果の発表準備をすることができる（F1・G1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 研究成果の発表方法について再確認をし、自身の発表準備を行う。
	15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで学んだことを集約し、研究の流れを説明することができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。 ③予習（120分） これまでの授業内容を確認しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅠで学んだ内容を再確認しておく。
関連科目	「ゼミナールⅡ（SSCS4606）」（3年次後期配当）は、本講と密接に関係します。	
教科書	特にありません。	
参考書・参考URL	特にありません。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日昼休み	
研究比率		



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.